

令和4年度第1回大気騒音振動専門部会の委員意見とその対応（案）

項目	意見	対応（案）
<p>第2章 関係</p> <p>アンケートの内容及び年齢構成</p>	<p>・アンケートについて、「きれい」と「さわやか」の違いが分かりにくい。また、「10年程前と比べてどうか」の設問も、前回調査と今回調査では比較対象の年が異なり、結果を比べられるものではない。</p> <p>・アンケートを回答する方の年齢により大気環境の感じ方も変わってくると思う。アンケートの年齢構成についても整理しておいた方がよい。</p>	<p>今回のアンケートは、年齢に関する情報が非公表の扱いのため、次回アンケートでは、設問を精査しつつ、年齢別の大気環境の感じ方、満足度の傾向等を整理します。</p>
<p>第4章 関係</p> <p>指標の設定</p>	<p>・アンケートは参考資料にはなるかと思うが、評価指標には向かないのではないか。</p> <p>・指標として分かりづらいということについて、例えば立山連峰が年間何日見えたとか、そういう指標もあるのではないかと思う。</p>	<p>他県と比較でき、ウェルビーイングにつながる指標として、次の2つを設定します。</p> <p>① <u>大気汚染に関する苦情件数の全国順位（10万人当たり、少ない順位）</u> 【全国2位（R3）⇒全国1位（R12）】 現行の計画では、「大気汚染に関する苦情件数」を指標に設定していますが、次期計画では全国順位で相対的に評価します。</p> <p>② <u>PM2.5濃度の改善度</u> 【7.3$\mu\text{g}/\text{m}^3$（R3）、全国13位（R2） ⇒低減させる、全国10位以内（R12）】 県民の関心が高く、かつ濃度変動を把握しやすいことから、大気環境の改善度を評価する指標として、「PM2.5濃度の改善度」を設定します。</p> <p>なお、視程については、令和2年度から、富山地方气象台による視程計での計測が開始されたばかりのため、今後、参考情報として、視程の推移を把握します。</p>

項目		意見	対応（案）
第5章 関係	施策関 係	前回と比べてあまり変わっていない印象を受けるが、県として何を目玉にしたいと考えているか。	<p>第5章2に整理したカーボンニュートラル実現に向けた取組みとの相乗効果を図りつつ、ウェルビーイングを実感できるようなよりよい大気環境づくりに努めます。</p> <p>なお、委員から多数ご意見のあった光化学オキシダント対策については、国の環境基準の再評価等についての検討結果や環境科学センターの研究成果等を踏まえ、令和5年度以降に、本県の今後の方向性を検討・整理したいと考えています。</p>